

中|小|企|業 ひろしま

No.719

広島県中小企業団体中央会

平成28年12月10日発行(毎月10日発行)

力を合わせて
ともに成長し、
広島をもっと元気に。

2016
12

— December —

INDEX

巻頭特集/組合紹介 1~2

変革に対応できる “人づくり”

広島輸送ターミナル協同組合

中央会ニュース 3~6

ものづくり連携倶楽部ひろしま

「第5回講演会・企業交流会」を開催!

第1回「ものづくり企業 熱処理

活用研究会」を開催! 他

組合士ニュース 9

中小企業組合検定試験・受験講座を開催

青年中央会ニュース 7~8

平成28年度組合青年部県大会を開催

婚活イベント事業「島コン in 因島 瀬戸キュン プチ運動会」

全国中央会創立60周年記念式典表彰 9

組合ニュース 10~11

「組合創立40周年記念式典」を開催

協同組合広島総合卸センター

「JU広島組合設立40周年記念祝賀会」を開催

広島県中古自動車販売商工組合 他

全国の先進組合事例 12

協同組合加賀染振興協会

10月景況レポート 13~14

中央会トピックス 15

平成28年度補正予算「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」が公募中です!



特集



紹介

広島輸送ターミナル協同組合

変革に対応できる “人づくり”

理事長
樋口 和之 氏



組合について

当組合は、昭和50年1月に設立され、昭和53年に貨物自動車等集団化事業によって広島市西部流通団地に進出して参りました。組合の主たる事業である共同購買事業においては、燃料スタンドを所有し、トラック輸送の運行費の多くを占める燃料を組合員に供給しています。その他にも、組合と組合員間で荷物・車輛を融通し合う物流事業、組合会議室や共同倉庫等の共同施設利用事業、組合

員への転貸融資事業、トラック協会助成制度活用のバックアップ、各種研修会の実施など、地域の流通業を担う組合員の経営安定に向けて取り組んでいます。

組合が抱える課題解決に向けた取り組み

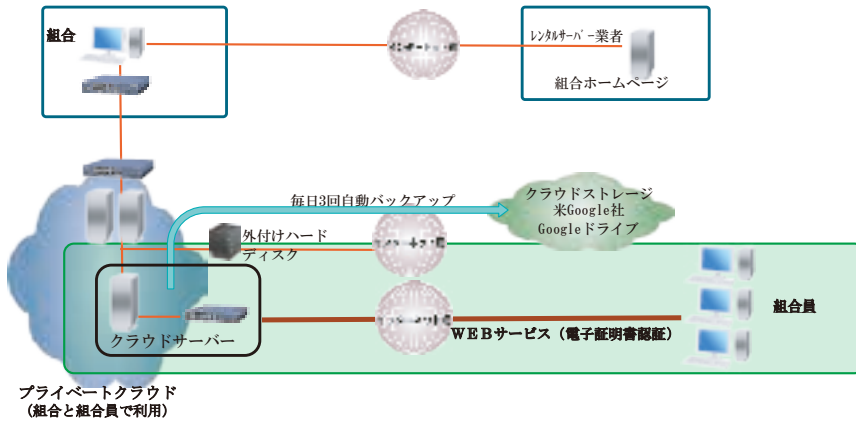
当組合では、平成17年度に「オリジナル・トータルネットワーク・システム」を構築した事をきっかけに、平成26年度には全国中央会の組合等情報ネットワークシステム等開発事

業を活用して、クラウド化による「組合情報共有・提供システム及び組合業務効率化システム」を新たに構築しました。このシステムにより、組合と組合員間では、各共同事業データの自動配信、スケジュール・施設利用予約の管理など、各組合員が必要とする情報を共有・提供でき、組合の活性化に大きく寄与しました。また、組合員間においても、求車・求貨状況や倉庫・人材情報を共有することが可能となり、組合員間で問題意識を共有し、課題解決に向けた話し合いの場となる交流会が開催されるようになったことは、今までに無い新しい動きと言えます。

組合による“人づくり”がもたらす効果

組合を構成する組合員とその従業員の一人一人には、理事長や誰かから言われたから実行した、という受動的活動ではなく、「自ら考え挑戦していく」という、いわゆる、ボトムアップが求められています。そういった一人一人の“人づくり”を進めていくために、組合員の横串として、教育情報部会・物流部会・安全部会の





3つの部会を立ち上げました。それぞれ部会員が担うべきタスクを見極め学ぶことで、組合員とその従業員も、胸襟を開いて本音で議論し、恒常的に積極的な情報開示・共有ができる関係を構築しました。

組合員の人的成長

組合が組合員の従業員とそのご家族を含んだ皆で成り立っているということを感じられる機会が、組合には必要となります。そして、人が人として成長していくためには、アナログ的な「感情」が欠かせません。当組合では、毎年献血活動を行っており、多くの従業員やその家族が参加します。その事業の効果として、献血

活動の実施に協力する人は、献血参加者への感謝の心が生まれるとともに、献血に参加する従業員やそのご家族は、自身が人の役に立つ活動を行っているという喜びの感情が育まれます。そういった活動を通じて成長した人は、やがて組合の活動に大きな影響を与えるよう成長していきます。こういった組合事業への参加は、受け身から入ることが多いですが、次第に大切なことが何かを理解できるようになり、変化し始めます。



そして、自分自身が担うべきタスクを感じ取り、能動的、かつ、積極的行動のできる人への成長へと繋がります。

組合の将来について

「モノを運ぶ」ことは、形を変える事はあってもなくなることはないと考えています。今後、IoT等で産業が飛躍的に成長していくことで、業界再編や受注の在り方などが大きく変わることも想定されます。当組合は、三つの部会の部会員が率先して自分達の頭で考え責任を持って実行していく事を求め、組合と物流業界の5年後、10年後の未来について徹底して話し合い、共通認識を持つ強固な組織づくりを目指し積極的に取り組んでいます。そして、それに並行して、部会員以外の従業員も能動的に組合活動に参加してもらうことで、組合のルーツを学ぶとともに、組合の理念も浸透させ、人間的に成長できる環境づくりに、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

広島輸送ターミナル協同組合

広島市西区草津港2丁目1番1号
TEL : 082-277-8888
FAX : 082-501-0635
<http://www.hyt.or.jp/>



中央会 NEWS

ものづくり連携倶楽部ひろしま 第5回講演会・企業交流会を開催

広島県中央会は、県内ものづくり中小企業の連携による商品・新事業創出、販路開拓等、経営の競争力強化を目的として、11月2日、メルパルク広島において、「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第5回講演会・企業交流会」を開催し、県内の中小企業等57名及び支援機関12名が出席された。



伊藤会長

第1部の講演会では、「ものづくり中小企業の自社商品開発と連携の道～インターネット活用で世界43ヶ国に販売～」と題して、株式会社ニッター 藤澤秀行代表取締役より講演があった。同社は、下請からの脱却を目指し、B to C の直販商品として“無駄にかっこいい”ヌンチャク系iPhoneケース『Trick Cover』を製作している。藤澤氏は講演で、『Trick Cover』では試作段階からクラウドファンディングによる資金集めをする中で、インターネット上で製品に対する生の声を聞くことができた。それらを製品改良に反映させることで、より顧客ニーズに合った製品を効率的に開発できた。この方法により、付加価値をつけて自社で値付けすることも可能となり、下請企業からの脱却が図れたり、社員が外から見られているという意識が高まり、モチベーションアップにつながった。その影響で、社員の技術水準向上や、社員1人1人の市場感覚も養えた。事業としては、異業種連携が始まり、自社の活動や技術の認知度向上にもつながった。今は時代の転換期にあり、色々なモノ、コトの価値の崩壊が始まっている。乾いた雑巾をそれ以上絞るには、かなりの労力と負担が伴うので、高くても、良いモノづくりを進めていくことが、時代に

求められていると言える。『オープンイノベーション』により、製品を売り込んでいくのではなく、1人でも多く自社のファンを創っていきましょう。」と語られた。その他にも、同企業が商品開発に至った経緯や、現在に至るまでの企業の歴史、新たな医工連携への取り組みなどを紹介しながら、参加企



株式会社ニッター
藤澤秀行代表取締役

業の業種を越えた連携の推進に対して、熱いエールを送られた。また、講演後には広島県中央会より、11月29日に神奈川県中央会と連携し開催する「ものづくり企業講演交流会in慶応SFC」(慶応大学湘南キャンパス)について企画概要を説明し、医工連携、異業種・異分野ネットワークなどに関する講演や、近年、IoTをキーワードに注目度が大きく高まっている慶応SFCへの視察について参加企業の募集を行った。

第2部では、県内中小企業で先進的な取り組みを行っている、株式会社イワタ木工 岩田知真 代表取締役より、「日





株式会社イワタ木工
岩田知真代表取締役



株式会社 Emax
兼田祐輔代表取締役



クラタ食品有限会社
倉田安彦代表取締役

本の巧の技術の連携で、けん玉を、廿日市市から世界へ」、株式会社Emax 兼田祐輔 代表取締役より、「中小零細企業の連携による新商品開発と、海外進出」、クラタ食品有限会社 倉田安彦 代表取締役より、「製麺業における海外戦略」の3つのテーマについて講演があり、各企業の事業紹介及び新たな企業連携の提案も合わせて行われた。

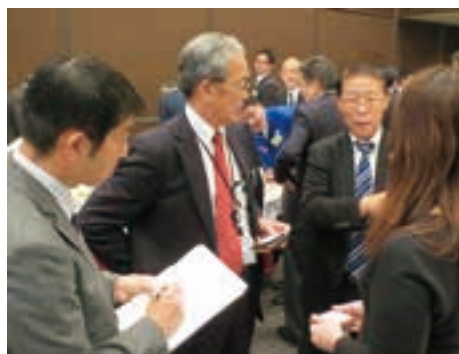


講演会終了後は、講師と事例発表者を交えた企業交流会を開催した。日頃接点の少ない先進的な技術を持つ県内の異業種企業が一堂に会し、参加した支援機関も含めて盛んに名刺交換し情報交換を行った。この交流会では、より多くの企業同士が触れあえるよう事前に各参加企業のプロ

フィールをまとめた冊子を配布し、交流会中に興味のある企業があれば、中央会職員が企業同士の引き合



せを行った。また、中央会職員及びものづくり地域事務局コーディネーターによる個別ヒアリングを行い、参加企業のニーズの把握や、現在取り組んでいる事業の課題と連携を考えている業界・企業等についての聞き取りを行った。交流会の会場においては、終始、企業の代表者や事業担当者が



互いの企業紹介や事業、技術について紹介し合う場面が数多く見られ、中小企業支援機関や中央会職員も加

わり、盛況となった。

広島県中央会では、今後も、「ものづくり」を中心とした企業連携及び事業実施中の「ものづくり企業 熱処理活用研究会」を始めとした、新たな連携体構築を推進していく。また、積極的に企業と企業の連携を生み出す交流の場を提供し、企業連携による新規ビジネスの創出に向けた豊富な事例紹介・情報提供を行っていくことで、革新的なものづくり企業を目指す企業へ確かな支援を続けていくこととしている。



中央会 NEWS

～川根柚子協同組合の取組みについて研修会を実施～ 平成28年度女性職員研修会を開催！

広島県安芸高田市にある「川根柚子協同組合」の取組みについて学ぼうと、組合事務局の女性職員等22名が同組合を訪問し、平成28年度女性職員研修会を開催した。

まず始めに、熊高順八企画・営業部長とパティシエの熊高真奈美氏より「川根柚子ヴァターケーキ。の魅力に迫る！！」と題して、川根柚子の歴史、商品の開発経緯などについて話を伺った。川根柚子の特徴から組



熊高順八企画・営業部長



パティシエの熊高真奈美氏

合の成り立ち、柚子加工品の製造及び販売への取組みについての貴重な講演に、参加者らは熱心に聞き入っていた。作り手側ならではのこだわりや商品が販売されるまでの苦労や、「FOODEX JAPAN 2015 美食女子グランプリ」において金賞を受賞するな

ど、高い評価を受ける当組合の取組みについて学んだ。

また、商品開発に携わっている熊高真奈美氏より、添加物や香料、着色料を使わず、砂糖や小麦粉は国産材料にこだわった「柚子ヴァターケーキ。」の商品開発秘話について話を伺った。当組合では、女性従業員ならではのアイデアや視点を生かしながら、四季に合わせた新商品を開発しており、



「川根柚子ヴァターケーキ。」の開発経緯などを学ぶ



柚子畑にて収穫体験を実施

組織で女性が輝く事例を学んだ。

講演終了後は、隣接する柚子畑に移動、柚子の栽培、収穫方法について説明を受けた後、柚子の収穫体験を行った。共同加工施設も見学し、収穫後の柚子の選別、搾汁手順などについて説明を受けた。その後、場所を移し、自らが収穫した柚子の加工体験をした。商品開発に向けた試行錯誤や、めったに入ることがない柚子畑での収穫作業などを通じて柚子栽培の大変さや柚子を活かす工夫、魅力ある商品開発など作り手の姿勢に触れることができた。

この度の研修を通じて、参加者は特産品の活用手法や地域活性化への取組みについて理解を深めることができ、また、女性の活躍について視察すると同時に、組合事務局職員同士の交流もでき、大変有意義な研修会となった。



川根柚子協同組合では数多くの商品を開発してきた

中央会NEWS

～ものづくり連携倶楽部ひろしま～

第1回「ものづくり企業 熱処理活用研究会」を開催！

広島県中央会は、11月1日、福山市ものづくり交流館にて第1回「ものづくり企業 熱処理活用研究会」を開催した。この研究会は「金属熱処理」に着目し、金属等の熱処理方法についての知識の向上とQCD向上及び販路拡大等、競争力の強化を目的に、広島県内の熱処理に興味関心を持つ企業経営者、従業員などが参加し、熱処理技術についての研究を行う。第1回目の今回は、県内より32社が参加、「焼入れ・焼戻し（調質）の特徴と事例・応用研究」をテーマに、光陽産業株式会社より金属熱処理技能士を講師に招き、金属等熱処理技術の基本から熱処理と切削加工等の具体的な事例を用いた講義が行われた。参加者らは、熱心に聴講し、熱処理技術について理解を深めた。第2回目となる次回は、福山熱煉工

業株式会社から講師を招き「高周波焼入れの特徴と事例・応用研究」をテーマとして開催することとしている。引き続き第4回までの開催を計画しており熱処理加工現場の視察研修も行う予定である。



第1回は「金属熱処理」をテーマに開催

組合士会NEWS

「中小企業組合検定試験・受験講座」を開催

11月6日、広島県中小企業組合士会（会長 永井幸雄）は、中小企業組合検定試験受験予定者を対象に受験講座を開催した。



豊富な資料を用いて徹底解説

この講座は、12月4日に実施される中小企業組合検定試験の合格者の増大を図るために毎年開催しているもので、試験科目である「組合会計」「組合制度」「組合運営」の試験対策について講習、今回は試験申込者のうち12名が出席した。

当日は、2部構成にて実施し、始めに、広島県中小企業組合士会の永井会長より、「組合制度」と「組合運営」について解説があり、近年の試験問題出題傾向及び受験にあたって

の心得等について説明が行われた。

次に、税理士の藤原正氏より、「組合会計」についての試験対策と傾向、決算仕訳、損益計算書、貸借対照表及び剰余金処分案の作成について説明が行われた。

受講者は12月4日に開催される試験対策のため、講師の説明をメモにとるなど熱心に受講され、直前試験対策講座によって大きな自信を得たようである。

組合士会では、今後も組合検定試験の合格者及び組合士認定者の増加を目指し、活動を行っていくこととしている。



試験対策受験講座の様子

青中 NEWS

「平成28年度組合青年部県大会」を開催！

～中小企業におけるブランド戦略～

広島県青年中央会(会長 田口裕司)及び広島県中央会(会長 伊藤學人)は、11月9日(水)、リーガロイヤルホテル広島にて「平成28年度組合青年部県大会」を開催した。当日は青年中央会会員、組合青年部関係者など約60名が出席。記念講演では、株式会社DDR 安藤竜二代表取締役より、



伊藤中央会会長



(株)DDR 安藤代表取締役

「中小企業におけるブランド戦略」をテーマに、中小企業がいかにブランド戦略に取り組む必要があるか、自身が手掛けてきた中小企業の多岐にわたるブランド戦略事例を紹介しながら説明し、ブランド育成につながる経営者の考え方や効果的な組織づくりのための指導方法について講演

が行われた。

講演で安藤氏は、「中小企業が価格競争に飲み込まれると、それが繰り返されてしまう。中小企業だからこそ、誰が売って、誰が買うのか、製品にどういったストーリーがあるか、徹底的に作り上げる必要があるであり、また、自社とそ

の製品イメージは絶えず伝え続ける事が大切である。顧客は100人のうちの100人をターゲットにしてはならない。『30歳の女性を対象に売る！』など具体的に決めて、100人のうちの1人を製品のファンにしていこう。ブランドとは、消費者との『約束の証』である。まずは、『自社を100文字、自



田口青年中央会会長

社の強みを75文字で3つ表現してみる』から始めよう。次に、自社がどんな企業か経営者がしっかりと考え、従業員と共有し、一丸となって取り組まなくてはならない。」と、組合青年部及び青年経営者等に向けて、中小企業におけるブランド戦略の重要性について熱く語られた。

講演終了後には懇親会が開催され、講師の安藤氏も出席し、和やかな雰囲気の中、参加者全員が交流を深めた。懇親会では、講演内容を聞いた参加者が中小企業におけるブランド戦略について意見を交わすなど、盛況となり、全日程を終了した。



組合青年部関係者等約60名が出席



懇親会の様子

青中NEWS

婚活イベント事業『島コンin因島 瀬戸キュン プチ運動会』

～広島県東部で初開催!! in 尾道市因島 しまなみビーチ～



広島県青年中央会は、11月20日、尾道市因島大浜町にて、婚活イベント事業『島コンin因島 瀬戸キュン プチ運動会』（後継者育成事業）を開催した。この度のイベントは、広島県青年中央会にて婚活イベント事業実行委員会を立ち上げ、因島商工会議所、尾道観光協会からの後援と福山大学の協力を受けて行われた。実行委員と協力機関が連携し、イベントのアイデアや進行について協議を重ねて当日を迎えた。婚活イベント事業としては初の試みとなった昨年度の山県郡安芸太田町にて開催された「森コン」から、今年度は尾道市因島大浜町のしまなみビーチ、尾道市因島重井町に位置する因島フラワーセンターなど因島に舞台を移し、2回目の開催となった。



開会挨拶する田口会長



運動会にあわせてバーベキューを実施

男性参加者は、青年中央会会員組合より参加募集し、女性参加者は昨年に引き続き「ひろしま出会いサポートセンター」の協力を得ながら参加を募るなどし、男女総勢46名の参加となった。参加者は、自己紹介やバーベキューの準備等を通じて親睦を深め、また、運動会を模したイベントなど、大いに盛り上がりを見せた。その後は、会場を因島フラワーセンターに移

男性参加者は、青年中央会会員組合より参加募集し、女性参加者は昨年に引き続き「ひろしま出会いサポートセンター」の協力を得



プチ運動会に向けて準備運動する参加者

してフリータイムを設けると、参加者らは園内を散策し、思い思いに会話をを楽しむ様子が見られた。イベントの途中に一時雨に見舞われたものの、イベント関係者、参加者らの協力もあって、予定のイベントを無事に終えることができた。その後の意中の相手を投票するカップリングイベントでは7組のカップルが成立するなど、今後に期待が持てる結果となった。広島県青年中央会婚活イベント事業実行委員会の村上委員長は、「今回の様なイベントを通じて所属員の一層の発展が期待できる。今後も参加者に楽しんでもらえるイベントを継続して実施していきたい。」と語られた。

広島県青年中央会では、今回のイベントを通じて得た経験を今後の運営に活かし、引き続き当事業の一層の充実を図っていく予定としている。



因島イメージキャラクター「はっさくん」も登場

全国中小企業団体中央会 創立60周年記念式典表彰

～ 経済産業大臣表彰 ～

11月29日、リョービ関連工業協同組合理事長の 有田重人 氏が、全国中小企業団体中央会創立60周年記念式典において経済産業大臣表彰を受けられました。
おめでとうございます。

有田 重人 氏

リョービ関連工業協同組合 理事長



お知らせ

申告書や申請書等には

マイナンバーの記載が必要です!!

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、

申告手続などには



**マイナンバーの記載
+**

**本人確認書類の
提示又は写しの添付**

が必要です

国 税 に 関 す る
マイナンバー制度の
最 新 情 報

国税庁ホームページトップページ上段



をクリック

<http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm>



組合NEWS

協同組合広島総合卸センター 「組合創立40周年記念式典」を開催

協同組合広島総合卸センター(理事長 伊藤學人)は、10月28日、広島サンプラザにおいて、昭和51年12月の設立から今年40周年を迎えたことを記念し記念講演会ならびに記念式典・懇親会を開催した。



式辞を述べる伊藤理事長

講演会では、講師の山口義行立教大学経済学部教授より、「今後の経済動向と中小企業経営～いま経営者は何をすべきか～」(将来の物流拠点のあり方)をテーマに講演があった。その後の記念式典・懇親会では、岸田文雄外務大臣(代理:裕子夫人)、平口洋衆議院議員(自民党副幹事長)、湯崎英彦広島県知事など、関係官庁、広島経済界、周辺団体などか

ら多数の来賓・関係者が出席するなど盛大に行われた。伊藤理事長は式辞で、「つながる街【新生OROSHI TOWN】を実現し、『広島の元気はここから』を発信していきたいと考えており、皆様方におかれましては、更なるご協力、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。」と語られた。



40周年記念式典・懇親会の様子

組合NEWS

広島県中古自動車販売商工組合 「JU広島組合設立40周年記念祝賀会」を開催



謝辞を述べる安部理事長

広島県中古自動車販売商工組合(JU広島)(理事長 安部英雄)は、11月9日、リーガロイヤルホテル広島にて「JU広島組合設立40周年記念祝賀会」を開催した。一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会

の澤田稔会長をはじめ、株式会社ユー・エス・エスの安藤之弘代表取締役社長、中国運輸局の平井信昭自動車技術安全部長ら全国の自動車流通業界や関係官庁等からの来賓を含む約380人が出席され、当組合設立からの40年を振り返るスライド映像も上映された。挨拶で安部理事長は、「スライドではわずか数分であったが、この40年には我々にとって多

くの出来事があった。ひとえにここにご参集の皆様のご協力で今日まで歩むことが出来た。昭和49年3月19日、自動車学校跡地で初のオークションを開催し、翌年のジャンボオークションで出品台数338台を集め、88.2%もの成約率を記録した。今後もこの40年の歴史を考えながら、本年を出発点と考え、『一枚岩』となって頑張っていきたい。」と語られた。



祝賀会には約380人弱が出席

組合NEWS

広島金座街商店街振興組合

青年部が主体となってカープ優勝&黒田投手200勝イベントを鮮やかに演出！

「セ・リーグ優勝、おめでとう！」広島市内中心部に位置する広島金座街商店街振興組合（理事長 中岡弘夫）は、組合青年部が中心となって、9月には広島東洋カープのセ・リーグ優勝イベントの開催、11月には「黒田さん、ありがとう」の特製ボードの展示を行った。優勝イベントでは、アーケード下に優勝の横断幕やのぼりを設置し、道行くカープファン



「黒田さん、ありがとう」特製ボード

とともに金座街を赤く染めた。また、今季で引退の黒田博樹投手の日米通算200勝記念ボードには訪れた人々の心温まるメッセージが余すことなく書き込まれ



赤く染まった金座街

ていた。組合青年部の田坂修次氏は、「『金座街を真っ赤に染めたい』という想いがたくさんの笑顔に繋がった。青年部一同、イベントを通じて得られた責任感と達成感を糧にして次へ繋げていきたい。」と今後への熱い気持ちを語られた。

働くみんなに、
大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業に
ご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共

CHU TAI KYO
小企業 退職金 共済制度

安全

国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、
掛金の一部を国が助成します。

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で管理も簡単
納付状況や退職金試算額を
事業主さんにお知らせします。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索



(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1

TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

全国の先進組合事例

協同組合加賀染振興協会

～地域の魅力発信によるグローバル需要開拓～

外国人への情報発信力強化による加賀友禅の需要開拓

■背景・目的

加賀友禅の市場規模が縮小する厳しい経営環境下、加賀友禅会館に近接する兼六園を訪れる外国人客数が急増していたが、会館案内表記はすべて日本語だった。そこで、外国人に対して加賀友禅の魅力をわかりやすく伝え、会館を起点とした情報発信を強化することで、加賀友禅に対する外国人の認知度を高めるとともに、会館収入向上を実現することを当面の目的とした。

■事業・活動の内容と手法

事務局長をキーマンとし、必要に応じて行政と連携しながら事業を推進した。具体的には、①館内表記の英語併記、②5カ国語(英語、フランス語、韓国語、台湾語(繁体字)、中国語(簡体字))の案内パンフレット作成、③無料Wi-Fi設置、④JCI世界会議金沢大会トレードショー出展、⑤石川県とJ R西日本などが共同で実施した外国人向けのツアーへの参加を行った。



館内の案内表記(英語併記)



案内パンフレット: フランス語、中国語(簡体字)

日本語表記を単に外国語に翻訳するのではなく、その国の人々が理解しやすい表現を用いて媒体を作成することが課題だったが、媒体作成を依頼した事業者と綿密に打ち合わせを行い、石川県在住の外国人に意見を聞く機会を設けながら作業を進めることで解決した。

需要開拓の長期的な目的は、加賀友禅の売上向上にあることから、外国人にとって魅力のあるヒット商品を開発することも不可欠であると考えている。現在、「新分野研究委員会」が中心となり、商品開発に取り組んでいる。対象とする国の生活習慣やニーズに合った、魅力的な商品を開発し、適正な価格で提供することが課題であり、行政等との連携を強化しながら課題を解決しなければならない。また、情報発信力強化のためには、組合ホームページをスマートフォン対応に更新するとともに、内容の充実を図ることや会館従業員の語学力向上も必要と考え、対策を検討している。

■成果

平成25年度、26年度は会館売上目標を上回り、平成23年度～26年度の4年間トータルでも目標を達成した。5カ国語案内パンフレット作成等による「来館者の満足度向上」、JCI世界会議金沢大会トレードショー出展等による「より積極的な情報発信」という、異なる切り口での取組みが成果獲得に結びついた要因である。外国人に対する情報発信力強化への取組みが契機となり、新商品開発にもつながった。

- 住所 〒920-0932 石川県金沢市小将町8番8号
- TEL 076-224-5511
- URL <http://www.kagayuzen.or.jp/>
- 設立 昭和48年7月 ■出資金 37,065千円
- 主な業種 加賀友禅の製造・卸業
- 組合員 206人

〔平成27年度 組合資料収集加工事業報告書 先進組合事例抄録〕より

10月 景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —

製造業

 増加・上昇・好転
  変わらず
  減少・下落・悪化

前月比						前年同月比							
業 種	動向項目	売上高	販売価格	収益	雇用人員	業界の景況	業 種	動向項目	売上高	販売価格	収益	雇用人員	業界の景況
	食 料 品							食 料 品					
	繊維・同製品							繊維・同製品					
	木材・木製品							木材・木製品					
	印 刷							印 刷					
	化学ゴム							化学ゴム					
	窯業・土石製品							窯業・土石製品					
	鉄鋼・金属製品							鉄鋼・金属製品					
	一般機器							一般機器					
	電気機器							電気機器					
	輸送用機器							輸送用機器					
	そ の 他							そ の 他					

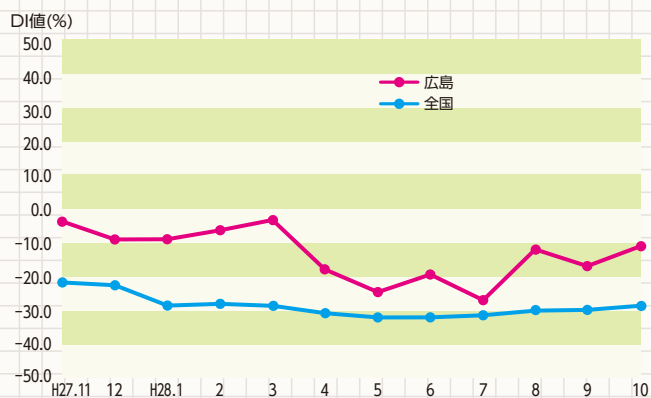
非製造業

前 月 比						前年同月比							
業 種	動向項目	売上高	販売価格	収益	雇用人員	業界の景況	業 種	動向項目	売上高	販売価格	収益	雇用人員	業界の景況
卸 売 業							卸 売 業						
小 売 業							小 売 業						
商 店 街							商 店 街						
サービス業							サービス業						
建 設 業							建 設 業						
運 輸 業							運 輸 業						
そ の 他							そ の 他						

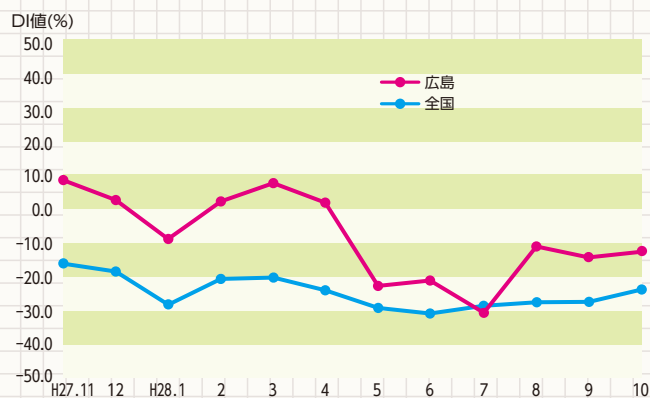
県内業界DI値の推移（前年同月比）

平成28年10月においては広島県ではそれぞれ、景況DI値-10.7(全国:-28.1)、売上DI値-12.5(全国:-24.1)となっています。

景況DI値



売上DI値



(注) DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

製造業

食料品

●10月の出荷量は前月比5.8%増加、前年同月比29.7%増加、売上高は前月比3.1%増加、前年同月比15.7%増加となった。

木材・木製品

●年内は忙しいが、来年はどうか未定である。
●平成28年9月の全国の住宅着工戸数は85,622戸で、前年同月比では10.0%増加、また、季節調整済年率換算値では98.4万戸(前月比3.0%増加)となった。
こうした全国の動きに対し、広島県内の9月の着工戸数は1,609戸で前年同月比18.0%の増加、このうち、持家は562戸で前年同月比20.3%の減少、貸家は593戸で前年同月比12.3%増加、分譲は437戸で前年同月比18.8%の増加となった。好調なプレカット部門に対し、依然低調な製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に好不調の差があるとの聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかり注視していく必要がある。

印刷

●組合員が減少した。

化学・ゴム

●先月とほぼ同じ状況である。自動車業界においては、生産現場の人員不足に拍車がかかり、間接人員による応援も考慮せざるを得ない。

国内生産台数が減少する中で、少人数化・合理化設備への投資も避けられないという矛盾が収益を圧迫している。11月の米国大統領選挙の行方も要注目である。

医薬品製造業

●会員会社が1社減となった。

窯業・土石製品

●出荷状況(24工場)
28年10月 3,345m³(対前年1.98%増加)、28年 9月 3,253m³、27年10月 3,280m³

一般機器

●広島県西部江波地区においては、航空機のパネル組立が8機/月ペースで推移しているが、操業はやや下降気味である。したがって、協力会社各社の操業もピークを過ぎている状況にある。観音地区においては、低操業の状況にある。
●設備案件が少し増加に転じたことに伴い、前月比10%増加、前年同月比2%増加となった。

電気機器

●今月の売上は前月比、前年同月比共に変化なしとなった。輸出物件が多少動いている。国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

今年も最低賃金が上昇し、経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。オリンピック需要があるのかどうか不安もある。

輸送用機器

●10月の国内自動車販売台数は全需が378千台、前年同月比0.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比0.8%増加と3ヶ月連続の前年超え、軽自動車は2.4%減少と22ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は14.3%減少と13ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車の9月の海外販売合計台数は129千台、前年同月比8.2%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比11.5%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比2.0%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

●県内2,500総トン以上の平成28年10月の船舶建造許可実績は9隻754,550総トン(前月5隻209,500総トン、前年同月6隻272,850総トン)であった。なお、このうち8隻は貨物船で1隻が油槽船となっており、全て輸出船となっている。

●中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●船舶関連の不況により、他の企業の受注も減少し、全体的に景況が悪化している。

その他(家具・装備品)

●全体としては、リビングセットがやや苦戦、ダイニングは横ばい傾向である。ベッドについては堅調に推移しているが、9月後半から若干販売単価が下がってきている。

コントラクト(ホテル、娯楽施設等)関係は好調で、売上に寄与している。

非製造業

卸売業

●婦人アパレル企業では、残暑が長かったため、秋物衣料の販売不振があり、冬物衣料の投入に遅れが生じている。

●今月も住宅着工は順調に推移しているが、民間の非住宅物件においては、苦戦が続いている。

●今月、2店舗閉店した。

●国内の主産地である熊本は、生産(製織)はフル稼働状態で、秋の展示会も終わり、本格的な需要シーズン到来といったところである。価格は横並びであるが、今後は若干上昇するものと見ている。広島県においては、注文生産の状態では強含みである。

一方、中国産量表では、生産はフル稼働状態で、価格は横並びで推移している。輸入業者も買いに動いており、良い品物・工場からの輸入が活発になっている。

小売業

●10月の売上は、前月比増加、前年同月比減少となった。

9月の日照不足により、野菜の相場が高騰した。このことで、販売単価が上昇したこと、学校給食の納品が増加したことが売上好転の要因である。しかし、利益面では、単価が高いことと、一部入札制となり利益を上乗せしにくい状況により、減少している。

●カープセールやイベントの日は集客数は伸びているが、通常の日が極端に悪い。

●10月度の販売実績は前年同月比4.4%減少となった。

商店街

●客数の減少に伴い、喫茶店が10月初旬廃業した。

●カープ優勝特需による売上増が継続している。カープ効果を実感している。

サービス業

●車検台数は前月比6.2%増加、前年同月比8.4%増加。車検場収入は前月比5.2%増加、前年同月比10.0%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比3.9%減少、前年同月比4.1%の増加となっている。

●カープ優勝に伴う特需により、若干売上は増加した。しかし、年末にかけて受注は減少が予想される。

建設業

●燃料や人件費上昇による価格改定が多くの建設資材で見られるが、公共工事で採用される資材価格の改定が追いついておらず、業者の収益が伸び悩んでいる。

●今月は、電化住宅の新築、リフォームが大幅に増加した。また、太陽光発電申請も増加傾向にあり、前年同月比42%増加、前月比175%増加となった。

●10月の売上については、前月比1.4%と微増、前年同月比26.6%と大幅な減少となった。累計では4.9%増加と9月実績に比べ、やや伸び率が下降気味である。下半期のオフィス、ホテル、商業施設の竣工に期待したい。

社会保険等の未加入対策としての法定福利費の確保(見積、契約)や安全衛生講習受講の義務化(公共工事、建築下請)等、事業主、被雇用者共に守るべき事項が確実に増えており、内装仕上げ業においてもコンプライアンス重視は命題となっている。

運輸業

●10月の荷動きは、前年比やや増加となった。粗鋼関連は堅調な動きを見せており、生産・出荷共に上向きである。紙関連・飲料関連も堅調に推移した。前月に比べ荷物量は増えたが、荷物と車両のバランスがとれており、車両不足で困るという状況にはならなかった。

軽油価格は減産合意から値上げ基調にあり、3円~5円/L程度値上げとなった。原油価格は5円/L程度値上げとなっており、国内の生産メーカーなどはガソリン・軽油のバランスを考えながらの生産になったようである。在庫抱え込みのリスクもあり、大きな買いはみられないようである。

●10月は各組合員の取り扱い荷物が前年同月比10%強減少した。原因は不明であるが、これが一過性のものか、今後注意が必要である。

●売上高、収益状況とも前月比、前年同月比に大きな変化は見られない。

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。運賃、用船料の改善が見られない。

その他(不動産業)

●今月は公的評価(広島県の地価調査)の報酬が入金され、前月比では売上、収益状況、資金繰りが若干好転した。

前年同月比は、特段変化はみられない。

新規加入組合員が1名あった。



平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」が公募中です！

平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の公募を以下の通り行います。

本事業は、中小企業・小規模事業者が取り組む、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

なお、公募要領及び応募書類、申請における留意点等については、広島県中央会HPをご確認ください。

(1) 事業の目的

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援します。

(2) 対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、下記の要件のいずれかに取り組むものであること。

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的サービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。

(3) 事業の詳細

・中小企業者等が第四次産業革命に向けて、IoT・AI・ロボットを活用する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援。
(補助上限3,000万円、補助率：2/3)

・中小企業者等のうち経営力向上に資する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援。(※)
(補助上限：1,000万円・500万円、補助率：2/3)

※雇用増(維持)をし、5%以上の賃金引上げについては、補助上限を倍増。

※最低賃金引上げの影響を受ける場合は補助上限をさらに1.5倍(上記と併せ補助上限は3倍)

(4) 公募期間

・受付開始：平成28年11月14日(月)

・締 切：平成29年 1月17日(火)〔当日消印有効〕

(5) 応募申請書類受付・お問い合わせ

〔広島県地域事務局〕 広島県中小企業団体中央会 (TEL) 082-228-0926
〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル6F
福山支所 (TEL) 084-922-4258
〒720-0067 福山市西町2丁目7-1 福山商工会議所ビル7F

※応募申請は広島県地域事務局へ申請書類をご郵送いただくか、中小企業庁が開設した支援ポータルサイト「ミラサポ」による電子申請(平成29年1月4日(水)開始予定)にてお願いいたします。

公募要領・応募申請書類等の詳細は、広島県中小企業団体中央会HPをご覧ください。

<http://www.chuokai-hiroshima.or.jp/>

事業所・ご自宅を守る!

あなたの事業所・ご自宅は本当に大丈夫?



火災共済は大切な事業所・ご自宅を火災、落雷、風災など様々な災害からお守りします。
再調達価額(新価)でご契約いただくと、万一の事故の際も安心です。

つながる力で、
安心と成長を



つながる力で、安心と成長を。

広島県共済

満60歳からの医療保障に!
万一の際のがん保障も充実!

シニア 共済

新登場



共済掛金[月々]

3,200円

加入年齢

満60歳～満85歳まで
(新規加入年齢は満75歳まで)

(広島県共済)

広島県中小企業共済協同組合
〒730-0048 広島市中区竹原町4-57
http://www.kyosai.ok.jp

広島県共済組合員相談室
☎0120-708030

三井生命保険株式会社 生命保険団体扱オーナーズプランのご案内

BESTパートナー
三井生命



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

広島県中小企業団体中央会の会員組合の組合員
がご契約者の場合、団体扱*となり、一般扱(口座
振替扱月払等)よりも **割安な保険料** で
ご契約いただけます。

* 団体扱とは、広島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございます。

※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル3F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町7-25 ケイエスビル7F TEL:084-928-3388

B-28-1013 (H28.4)
使用期限 H29.3.31

事務局 目 録

11月 NOVEMBER 2016

- 1日 ●ものづくり連携倶楽部ひろしま 熱処理活用研究会(第1回)(福山市ものづくり交流館)
- 2日 ●ものづくり連携倶楽部ひろしま 第5回講演会・企業交流会(メルパルク広島)
- 4日 ●全国青年中央会 UBAサミット・平成28年度組合青年部全国講習会・交流懇親会(ローズホテル横浜)
- 7日 ●熊野筆事業(協) 組合特定問題研修会(組合会議室)
- 8日 ●広島市中の棚商店街(振) 組織化集中支援事業(運営・商業・サービス業支援)(第1回)(組合会議室)
- 9日 ●青年中央会 組合青年部県大会(リーガロイヤルホテル広島)
- 15日 ●広島市中の棚商店街(振) 組織化集中支援事業(運営・商業・サービス業支援)(第2回)(組合会議室)
- 18日 ●広島市北部造園(協) 中小企業活路開拓調査・実現化事業委員会(第4回)((株)エー・エス・エー平原営業所)
- 24日 ●(協)マグネトピア広島 中小企業活路開拓調査・実現化事業(中小企業組合等活路開拓事業)試作・改造事業委員会(第3回)(デルタ工業(株))
- 24日 ●女性職員研修会(川根柚子(協))
- 28日 ●平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」公募説明会(広島商工会議所)
- 29日 ●全国中央会 創立60周年記念講演・記念式典・祝賀会(ANAインターコンチネンタルホテル東京)
- 29日 ●ものづくり連携倶楽部ひろしま 企業講演・交流会in慶応SFC(慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス)
- 29日 ●平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」公募説明会(広島県福山庁舎)
- 30日 ●広島キッズシティ2016 第2回実行委員会(広島商工会議所)

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

編集後記

学生時代に学んだことや、昔会った人の名前を思い出せない事が増えてきました。これは、最近私が頭を使わないせいか、もの忘れするようになってきたんだな、と思うわけですが、想像力豊かなある人に、「そうじゃないんだ。それは、あなたを狙う誰かが悪魔と契約し、『記憶のデスノート』に、都合が悪い事を書き込んでいるからなんだよ。ただ、そのノートを隠し持っているのは、あなた自身なんですけどね。」とさりとて言われました。なるほど、そういう考え方もあるのかと、ついつい関心してしまいましたが、これがいわゆる、「逆転の発想」になるのでしょうか。そういえば、こういうユーモア溢れる考え方は、子供が読みそうな絵本などの表現で、たくさんでてきたように感じます。その人曰く、「幼少期に絵本をたくさん読み聞かされて育った」とのこと。脳の構造上、記憶はどうしてもぼやけてしましますが、モノの考え方の根幹というのは、幼い頃に見て感じた事に大きく影響を受けるんだと思います。私はもう十分大人のはずなので、絵本には大いに抵抗がありますが、暇な時間には本を開くクセを、これからも継続していきたいところです。(藤原)

表紙のことば



広島県のふるさとの味「広島菜」

寒さと共に美しい緑が深まる

日本三大漬菜の一つに数えられる広島菜は、主に広島市安佐南区川内地区の太田川流域で栽培されています。広島菜の浅漬けが世間に広く知られるようになったのは戦後の牡蠣の普及と共に牡蠣によく合う食べ物として認知されてからです。浅漬の他にも葉巻きむすび、古漬けのお茶漬けなど広島郷土食として古くから親しまれています。



メルマガ会員登録中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、公の施策やセミナー案内状などの「最新情報」を定期的にお届け致します。組合運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらのアドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

平成 28 年 10 月 19 日創設

65 歳超雇用推進助成金のご案内

高齢者の安定した雇用の確保のため、定年の引上げ等の制度を実施した事業主を助成します

(1) 助成金制度の概要

平成 28 年 10 月 19 日以降に労働協約又は就業規則に以下の制度を規定し、制度を実施した場合に助成します。(1 事業主につき 1 回限り)

	導入する制度	助成額
①	65 歳への定年引上げ	100 万円
②	66 歳以上への定年引上げ 又は定年の定めの廃止	120 万円
③	希望者全員を 66～69 歳まで継続雇用する制度の導入	60 万円
④	希望者全員を 70 歳以上まで継続雇用する制度の導入	80 万円

※①～④の複数の制度を合わせて導入した場合は最も高い額のみを支給となります。

【主な支給要件】

- ・ 導入する制度の実施日から起算して 1 年前の日から支給申請日の前日までの間に、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の第 8 条・9 条 1 項のいずれの規定にも違反していないこと。
- ・ 定年の引上げ等の実施に対して、専門家への委託費等の経費の支出があること。
- ・ 支給申請日の前日において、申請事業主に 1 年以上継続して雇用されている者であって 60 歳以上の雇用保険被保険者（定年の引上げ等を行う労働協約又は就業規則の適用を受ける期間の定めのない労働契約を締結する定年前の労働者または定年後に継続雇用制度により引き続き雇用されている者）が 1 人以上いること。
- ・ 定年の引上げ等に関して、過去に高齢者雇用安定助成金の支給を受けていないこと。

※他にも必要な要件がありますので、ホームページをご確認ください。

(当機構トップページ→高齢者の雇用支援→助成金とお進みください)

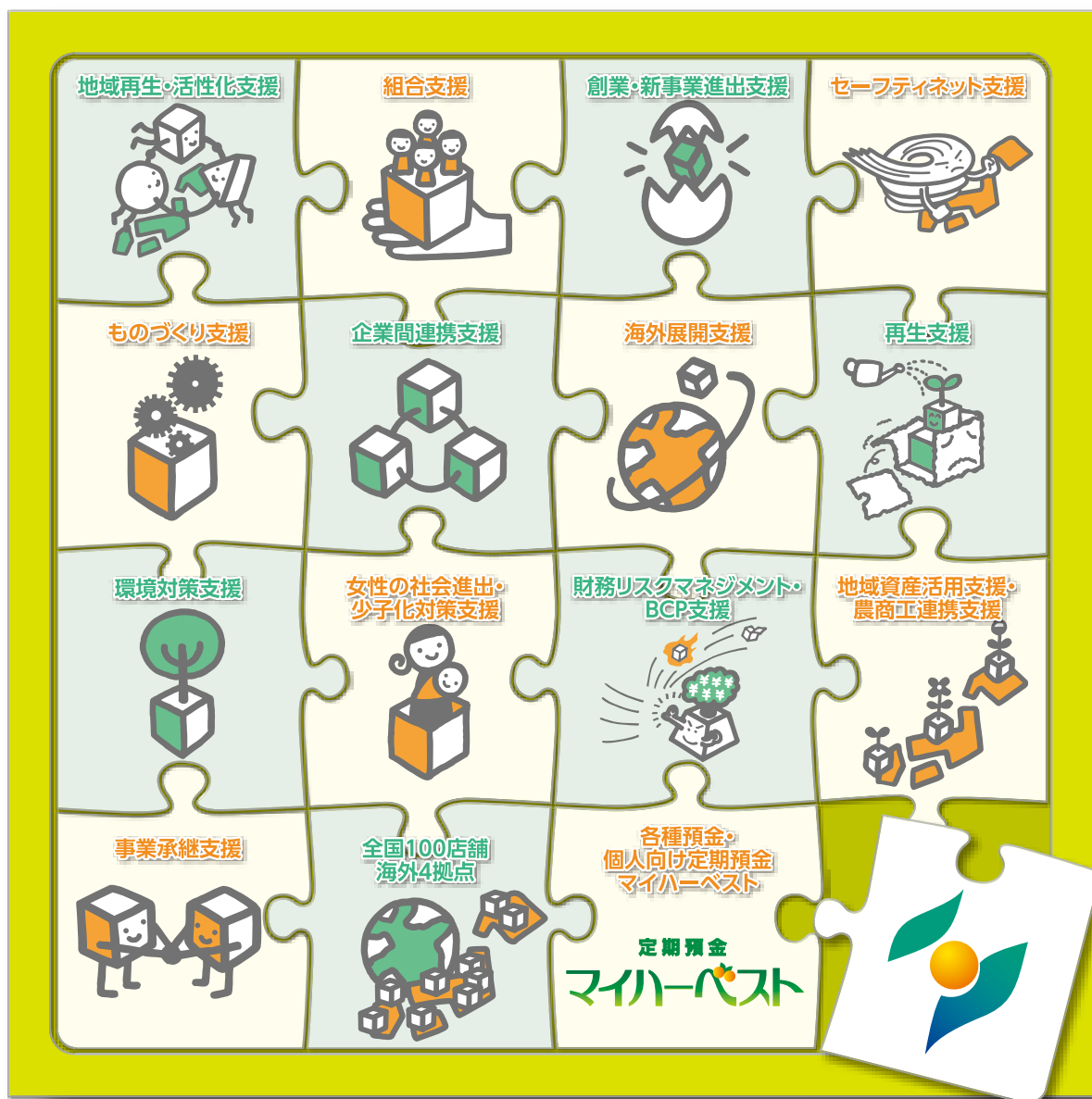
(2) 申請手続

- ・ 制度を実施した日の翌日から起算して 2 か月以内に支給申請を行ってください。
(事前の計画の認定は不要です。)
- ・ お問い合わせ、ご相談、申請等については、主たる雇用保険適用事業所の所在する都道府県の機構支部 高齢・障害者業務課（東京・大阪は高齢・障害者窓口サービス課）までお願いします。
- ・ 申請様式及び申請方法について詳しく説明した「支給申請の手引き」を当機構のホームページでご案内をしています。

詳細は、広島支部の高齢・障害者業務課にお問い合わせください。
〒730-0825
広島市中区光南 5 丁目 2 番 65 号
TEL 082-545-7150
当機構 HP(<http://www.jeed.or.jp/>)でもご案内しています。



商工中金は、幅広いサービスで 中小企業と地域の未来を支えます。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。



人を思う。未来を思う。

商工中金

<http://www.shokochukin.co.jp/>

広島支店

広島西部支店

福山支店

- 本通り電停バス停前
TEL.082-248-1151
- アルパークから南へ徒歩5分
TEL.082-277-5421
- 福山駅前大通り南へ900m
TEL.084-922-6830